

1 家慶 12代 1837~53.

1844. **2 オランダ国王**が日本に**3 開国**を勧告 →幕府は拒否

1846. **4 ビッドル** (アメリカ東インド艦隊司令長官)が**5 浦賀**に来航し通商を要求→幕府は拒否

ペリー来航と和親条約

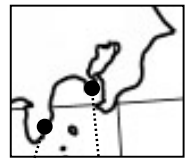
6 1853年6月 **7 ペリー** (アメリカ東インド艦隊司令長官『日本遠征記』)、**8 浦賀**来航
 (癸丑) 4隻の軍艦(黒船)…旗艦**9 サスケハナ号** **10 フィルモア大統領の国書**
 →幕府は**11 久里浜**に上陸させ、国書は受理し、翌年の回答を約束

7月 **12 プチャーチン** (ロシア極東艦隊司令長官)が**13 長崎**へ来航

14 家定 13代 1853~58 病弱

老中**15 阿部正弘**…従来の慣例を次々とやぶる (**16 安政**の改革)

- ・ 諸大名・幕臣の意見を聞き、幅広く人材を登用
- 〈例〉**17 川路聖謨** (としあきら)・**18 岩瀬忠震** (ただなり)・**19 永井尚志** (なおむね) …実務有能者を外交交渉に
- 20 徳川斉昭** (前水戸藩主)の幕政参加
- ↳ **21 尊王論**、**22 攘夷論** (外国排斥を主張)の中心的人物
- ・ **23 朝廷**にも報告
- ・ **24 大船建造を許可**
- ・ **25 台場** (砲台)設置…江戸湾の防備 **26 江川英竜 (太郎左衛門)** (ひでたつ)、**27 高島秋帆** (しゅうはん)ら



下田 浦賀

28 1854年1月 ペリー再来→**29 日米和親条約** (**30 神奈川条約**)締結

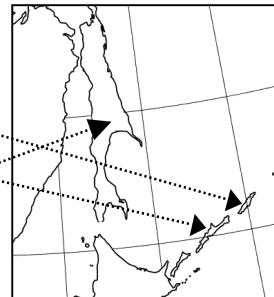
- ・ **31 下田** ・ **32 箱館**の開港 (下田には**33 領事**が駐留)
- ・ 薪水・食糧の供給、難破船・乗組員の救助
- ・ 片務的**34 最恵国待遇**…アメリカ以外の国に与えたより有利な条件は、自動的にアメリカにも与えられる

※ペリーは琉球へも →**35 琉米修好条約** (1854)…薪水の給与、領事裁判権など

36 ロシア・**37 イギリス**・**38 オランダ**…ともほぼ同様の条約(和親条約)を結ぶ。

↳ プチャーチンが再来して交渉

- 開港…下田・箱館に加えて**39 長崎**も
- 国境…**40 ウルupp** (得撫)島からロシア
- 41 エトロフ** (択捉)島まで日本
- 42 樺太**は**43 両国人雑居**



※その後も幕府の改革や新技術の開発は進む

<例>⁴⁴ **蕃書調所** (1855:江戸)…洋学翻訳・教授所 …→⁴⁵ **開成所** (1863)

⁴⁵ **講武所** (1854:江戸)、⁴⁶ **海軍伝習所** (1855:長崎)、石川島造船所、

長崎製鉄所、横須賀製鉄所、海軍操練所、江戸関口大砲製作所 等

※江川(1855年)、阿倍(1857年)あいついで急死

補足資料①日米和親条約(神奈川条約)

第二ヶ条 伊豆下田・松前地箱館の両港は、日本政府に於て、**亜墨利加船薪水食料石炭欠乏の品を日本人にて、調候丈**(準備できる分については)は**給し候** 為め、**渡来の儀、差免し**(許可)候…

第九ヶ条 日本政府、外国人へ**当節**(現在) **亜墨利加人へ差許さず候** 廉(許可していない件を)、**相許し候節は、** **亜墨利加人へも同様差許し申すべく、** 右に付、**談判(相談)猶予** (延期) **致さず候事**

【正誤問題に挑戦】<2000日本試験、1996追試験{改}より>

- (1) 幕末には、海防の充実を図るため、大砲を据え付ける砲台である台場が江戸湾に築かれた。
- (2) ペリーの初めての来航は、人々に衝撃を与え、老中阿部正弘は朝廷に報告し、諸大名などから意見を広く求めて対策を立てようとした。